

T-ブロック<縮刷版>

取付説明書

●このたびは、東洋エクステリア製品をお買いあげいただきましてまことにありがとうございます。

●正しく施工、組付けをしていただくために、施工前に必ず取付説明書をお読みください。

<注意事項>

■本取付説明書は基本的なことのみ記載しております。施工前には必ず「T-ブロック取付説明書集」をお読みください。

■モルタル施工は5°C以下では行なわないでください。

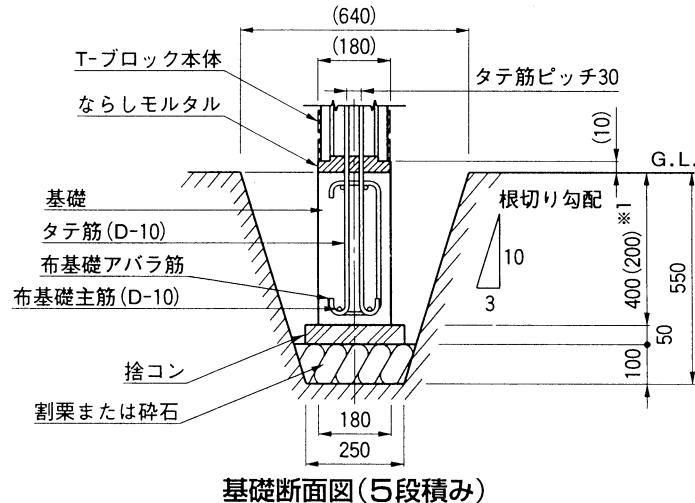
■特に凍結が予想される場合は注意してください。

1. 基礎の施工

<注意>

- 壁体の構成において基礎施工が強度に大きく影響します。特にタテ筋は必ず基礎に定着させてください。
- 基礎施工が不十分ですと、壁が転倒する危険があります。

1-1 基本ブロック、Rブロックの基礎



<注意>

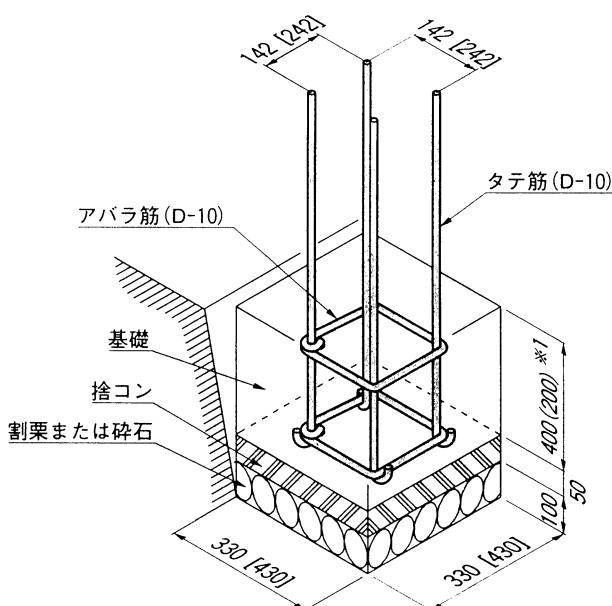
- 4段積み以下の場合、基礎深さは200mm以上にしてください。(※1)
ただし、寒冷地においては凍結深度が優先されます。
- 根切り勾配は一般的な値を示しますが、施工条件等(敷地境界など)で変化します。

歩掛表(数量は1m当たりを示します。)

名 称	規 格	数 量
割栗石	C-40	0.03m ³
捨コンクリート	160kgf/cm ² 以上	0.013m ³
基礎コンクリート	180kgf/cm ² 以上	0.07m ³
ならしモルタル	1:3	0.007m ³
布基礎主筋	D-10	4m
布基礎主アバラ筋	D-10	0.9m

(5段積み)

1-2 角ブロックの基礎



<注意>

- 門柱と堀を連続して施工する場合は、必ず基礎内部で鉄筋を結合して一体化させてください。
- 4段積み以下の場合、基礎深さは200mm以上にしてください。(※1)
ただし、寒冷地においては、凍結深度が優先されます。
- 左図の寸法は、300角ブロックを施工する場合です。
- []内寸法は、400角ブロックを施工する場合です。

歩掛表

名 称	規 格	数 量	
		300角	400角
割栗石	C-40	0.01m ³	0.02m ³
捨コンクリート	160kgf/cm ² 以上	0.005m ³	0.01m ³
基礎コンクリート	180kgf/cm ² 以上	0.05m ³	0.08m ³
ならしモルタル	1:3	0.004m ³	0.006m ³
アバラ筋	D-10	1.2m	2.0m

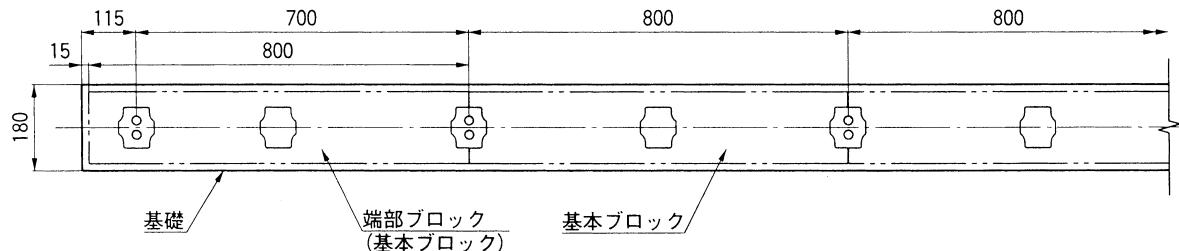
(5段積み)

2. タテ筋の配筋

<注意>

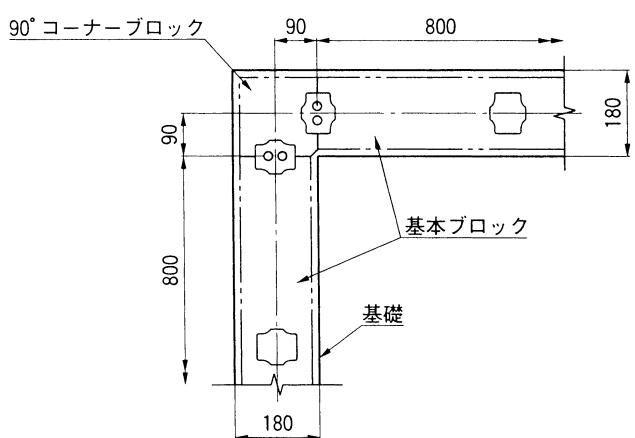
- 必ず鉄筋クリップを使ってD-10の鉄筋2本を30ピッチで施工してください。
- タテ筋のピッチは800を超えないでください。
- モルタルのかぶりを均一にするために、タテ筋はモルタル充てん穴のほぼ中央に施工してください。

2-1 直線部のタテ筋ピッチ

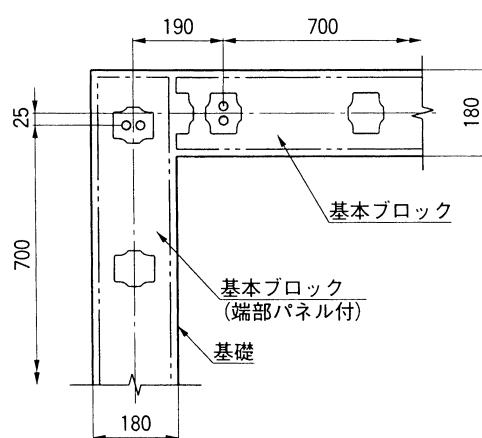


2-2 90°コーナー部のタテ筋ピッチ

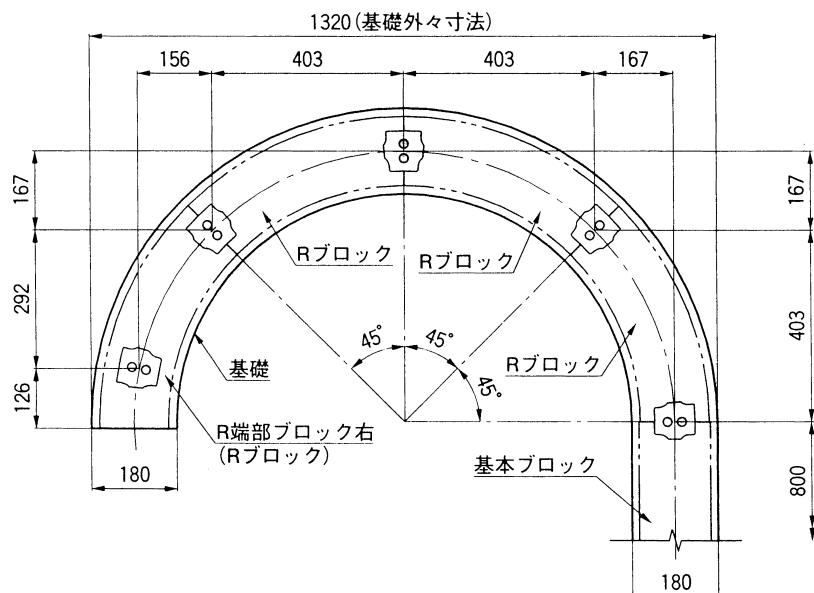
(1) 90°コーナーブロックを使った場合



(2) 基本ブロック(端部パネル付)と基本ブロックを使った場合



2-3 Rブロックのタテ筋ピッチ



3. ブロックの割付け

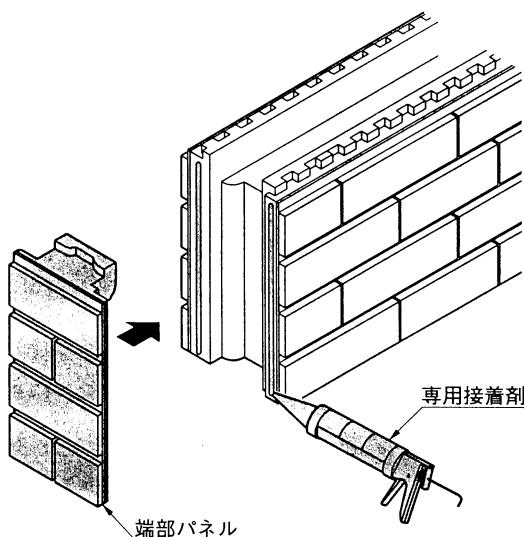
3-1 直線部分のブロックの割付け（※ブロックは最大5段積みです。）

- ① ブロックのジョイント部が千鳥になるように、基本ブロックと半切りブロックを組合わせてください。
 <注意>
 ● 5段積みを越えて施工しないでください。風や地震により、倒壊するおそれがあります。

3-2 R部分のブロックの割付け（※ブロックは最大5段積みです。）

- ① ブロックのジョイント部が千鳥になるように、RブロックとR半切りブロックを組合わせてください。
 <注意>
 ● 5段積みを越えて施工しないでください。風や地震により、倒壊するおそれがあります。

4. 端部の処理



- ① 「端部になるブロック」のクッション材と出っ張り部を、カッター等で取除いてください。

- ② 左図の位置へ「専用接着剤」を塗布してください。（2ヶ所）

<注意>

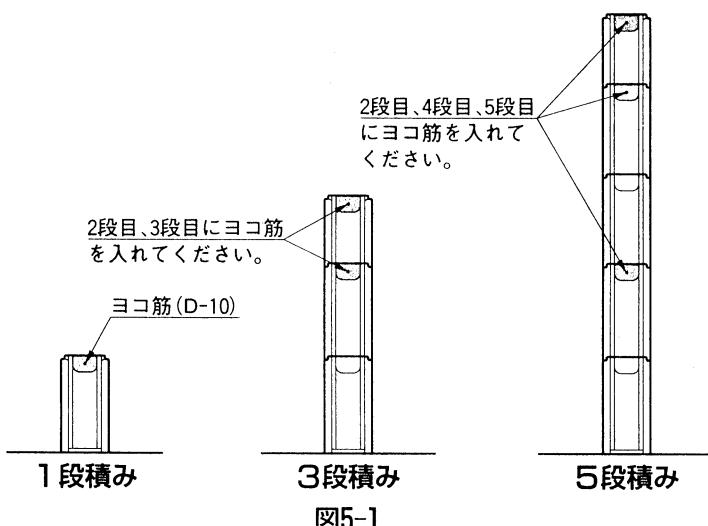
- 「専用接着剤」以外は絶対に使用しないでください。発泡材を侵すおそれがあります。

- ③ 端部パネルを手で押えてセットしてください。（接着剤と充分なじむ程度）

<注意>

- ハンマー等の工具を用いるとパネルが割れるおそれがあります。

5. ヨコ筋の配筋



- ① ヨコ筋は2段目および4段目とすべての場合の最上段に1本入れてください。

<注意>

- ヨコ筋は、タテ筋のどちらか一方と結束してください。
- ヨコ筋は、モルタルのかぶりを均一にするために中央にセットしてください。

- ② ブロック積上げ段数が奇数段の場合は、図5-1のようにヨコ筋を入れてください。

6.施工上、使用上の注意事項

<T-ブロック商品に対する知識>

■T-ブロックはセメント質のブリックを使用しているので、セメントの性質上、白華を生じる場合があります。

- 防水処理剤を施すことにより白華を出にくくすることができます。

■自然な風合いを出すため、表面の凸凹や色合いは材料により違いがあります。

■ブロックごとの目地色の濃度に個体差が生じます。

- お届け時または施工後、季節・施工条件などによりブリックタイル表面が一部白くなる場合がありますが、性能などに問題はありません。

<施工上のご注意>

■運搬および保管

- 搬入や施工時の運搬は、カド打ちに注意してください。
- 発泡芯材は太陽光線のもとに長時間放置すると、紫外線により表面が劣化するおそれがあります。
- 発泡芯材部は80°C以上になると変形しますので、高温のものや火気がない場所に保管してください。

■施工

- 充てんモルタルが硬化するまで添え木などで支え、ずれたり倒れたりしないように注意してください。
- 気温が5°C以下になる場合は施工を避けてください。
- 接着やコーティングは当社指定の「専用接着剤」を使用してください。
- 表面にモルタルが付着した場合は、速やかに柔らかいナイロンブラシなどで水洗いをしてください。乾燥してからの酸洗いや、金属ブラシでの清掃はブリック表面を傷めますので行なわないでください。
- 防水剤は必ず、当社指定のものを使用してください。
- 発泡芯材の化学的性質は一般に弱酸、アルカリ、塩類などに優れた抵抗性を持っていますが、アルコール以外の有機溶剤や石油類に侵される性質を持っていますので、それらが付着しないように注意してください。
(例：有機溶剤系塗料、接着剤、有機溶剤系はっ水剤、灯油、ガソリンなど)

<使用上のご注意>

■年に2～3回の水洗いをしてください。

■清掃には金属製ブラシや金ベラは使用しないでください。表面を傷めるおそれがあるので、柔らかいナイロンブラシなどを使用してください。

■汚れがひどい場合には、中性洗剤をうすめた液で汚れを落したあとで、洗剤が残らないようによく水洗いをしてください。その際、近くの植栽に洗剤がかからないように注意してください。

■シンナー、ベンジンなどの有機溶剤の使用は避けてください。

■ブリックの主成分がセメント系であるため、内部や目地部分からカルシウム分が水分により溶け出し、表面に白いシミ(白華現象)が出ることがあります。その場合は、柔らかいナイロンブラシなどで水洗いをしてください。なお、酸や酸性洗剤を用いての酸洗いは表面を傷めるおそれがあるので行なわないでください。

■商品の発泡芯材は難燃材を含んでいますので、微小火源では着火しにくくなっていますが、80°C以上で融解する性質があります。火気や高温のものを近づけないでください。



199909A